



LDL コレステロール(以下 LDL-C と記載します)には、肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ(運搬屋さんの)役割があります。

量が多いと、利用されないまま血管壁の内側に蓄積されて動脈硬化の原因になるため、悪玉コレステロールとも呼ばれます。

栄養バランスが乱れると LDL-C の値は高くなる傾向があります。

コレステロールについて、詳しくはこちらをご覧ください



心当たりはありますか？

痩せているのに LDL-C が高い方の中には、遺伝が原因の場合があります。LDL-C が高くても自覚症状がないので、血液検査を受けないと判らず、発見が遅れがちです。

LDL-C が高い状態が長く続くと心筋梗塞や脳梗塞の発症リスクが高くなるため、早めの内服治療が必要です。

そのため、早期発見・早期治療がとても大切です。

LDL-C 上昇の原因はいろいろ

遺伝

女性ホルモン
エストロゲンの
減少

マーガリン・乳製品・
洋菓子の食べ過ぎ!

栄養バランスの乱れ



こちらも放っておいては危険です

更年期に入り LDL-C 値が高くなっているかも！

閉経によって女性ホルモンの分泌量が減少し、その材料であるコレステロールが以前ほど不必要になります。

そのため血中に LDL-C が余ってしまい、上昇します。

LDL-C が上昇しても自覚症状はありません。

あなたは自分の LDL-C の値を知っていますか？

健診を受けて
自分の値を
チェック！
血液検査で
確認しましょう～

